

夏の高齢者向け旅行商品

大分市武漢事務所 賈 芳

今年の大分市の夏はいかがでしたでしょうか。武漢市は中国の三大かまどと呼ばれるほど夏になると非常に暑く、日中は40度近くにまで達します。そのため、夏休みは避暑地への旅行が人気となっています。

日頃、学校への送迎など孫の世話に追われているお年寄りにとって比較的時間が空く夏休みの時期は、旅行に行く絶好のチャンスであり、涼しい山や川でレジャーを楽しみ、自然に触れながらリフレッシュできるような、避暑地への旅行が大変人気となっています。

そこで、今回はお年寄りに人気のある、武漢市周辺の避暑地をご紹介します。

大別山

武漢市から2時間余りで行くことのできる大別山は武漢のお年寄りにとって、非常に魅力的です。食事込みの宿泊費用、8日間880元(≒13,200円：1元15円で計算、以下同様)のコースでは、華中第一谷と呼ばれる大別山谷、武当南宗の発祥地の南武当山、大別山仏教景勝の地、石鼓廟、明の時代以前に建設された伝統ある中国の村、大河沖村の4大観光地を観光することができます。また、現地で開催されるイベントにも参加することができ、交流の場では、各地の高齢者グループと、卓球・バドミントン・将棋・麻雀等を楽しむことができます。

一ヶ月間の滞在費用は3,000元(≒45,000円)以下となります。

恩施利川市

恩施利川市は旅行資源が豊富で、更にとっても過ごしやすい気

候であるため、毎年沢山の観光客が訪れており、今年も夏休みに入ってから、既に6,000人あまりの高齢者が訪れています。農業体験をすることもできます。平均気温が24度と半日農作業を行っても汗をかかないくらい涼しいため、孫と一緒に、野菜の栽培や収穫を体験することができます。2ヶ月間滞在したとしても約4,000元(≒60,000円)しかかからないため、武漢の自宅で過ごすより、心地よい環境で夏を満喫しながら、出費を抑えることができます。

恩施利川市のある農家の方は、民泊ビジネスを始め、10部屋中7部屋を武漢からの宿泊者に貸し出しています。

木魚鎮

竹農架の木魚鎮も避暑地としてとても有名な地域です。この地域では、農家が空き部屋を利用し旅館や民宿を行う場合に鎮政府から補助金が出ます。一部屋をリフォームするごとに1,500元(≒22,500円)、トイレ箇所のリフォームにつき更に1,500元(22,500円)が補助されます。貧しい農家では更に多くの補助金を受けることができます。

もし、1日30元(≒450円)で3つの部屋に6人で宿泊する場合、1日の収入は180元(≒2,700円)となり、75日間になると13,500元(≒202,500円)の収入を得ることが出来ます。また、宿泊者の食材を現地の農家から取り寄せることで、農家の収入も増え、鎮全体の雇用問題も解決します。

民泊ビジネスは、このほかにディベロッパが1年物、10年物の宿泊物件として、取り扱う不動産業も派生しており、民宿出資等のファンドビジネスを作りだしています。

